

「大月市高齢者福祉計画・第6期介護保険事業計画（素案）」について のパブリックコメントの結果公表について

大月市高齢者福祉計画・第6期介護保険事業計画（素案）に対するご意見を募集した結果、1人の方から6件のご意見をいただきました。お寄せいただいたご意見の概要と、それに対する市の考え方を公表します。

<ご意見の募集結果>

◎意見案件名

「大月市高齢者福祉計画・第6期介護保険事業計画（素案）」

◎意見募集期間

平成27年2月2日から平成27年2月16日まで

◎意見の提出者数及び意見件数

意見提出方法 電子メール、意見提出者数 1人、意見件数 6件

No.	意見・要望	市の考え方
1	<p>P1に述べられている（介護保険料の）「低所得者の負担引き下げ」は、非常に重要な施策だと思います。低所得者への保険料軽減は、国の基準を超えてでも市の独自財政を使って一層なされるべきだと考えます。</p> <p>また、400人を超える高齢者が介護保険料が負担能力を超えていると感じている可能性があることは深刻な事態だといわざるを得ません。重ねて保険料率の軽減をお願いいたします。</p>	<p>介護保険の1号保険料の低所得者軽減強化として、平成27年4月より第1段階の市町村民税非課税世帯のうち、特に所得の低い者を対象に給付費の5割の公費とは別枠で公費を投入し、保険料基準額に対する割合を軽減する予定となっております。さらに、平成29年4月の消費税10%引き上げ時に、市町村民税非課税世帯全体（第1段階から第3段階）を対象として、保険料基準額に対する割合の軽減を行うことを予定しております。</p> <p>なお、国、県及び市が投入する公費負担の割合は介護保険法で定められており、法定外の財政投入は想定されていません。</p>
2	<p>P13の「食事を抜くことの有無」のアンケートの結果が経済的理由による欠食をも含んでいるとしたら、やはり由々しき事態と言わざるを得ません。格差社会という言葉が通用し始めた1990年代以降、全国的に各地で餓死という絶対的貧困の極致ともいべき事態が発生しています。早急に実態調査し、対策を講じるべきと考えます。</p>	<p>65歳以上のひとり暮らしの方又は65歳以上の方のみの世帯に対し、配食サービスにより、定期的に食事を届けることによって、健康の維持・向上や安否確認を行い、少しでも生活の負担を減らすことによって、自立生活を続けていけるよう支援を行っていきます。</p>

3	<p>4千人近い高齢者が社会的孤立状態にある可能性が高いことを重視して、計画案の各論に述べられている諸施策を絵に書いた餅にせず、より豊かに全面的に実践していくことが大事なのではないのでしょうか。</p>	<p>計画に対するご期待と捉え、計画の推進に向けて、着実に事業を実施してまいります。</p>
4	<p>将来の介護対象者を減らすために、コミュニティーカフェや事業体におけるヘルスプロモーションを推奨していくことを推奨していくことを提案いたします。</p>	<p>現在、介護予防事業では、住み慣れた地域でつながりを持ちながら健康づくり・介護予防に取り組む個人・グループの支援を行うとともに、地域包括ケアシステムの構築により地域が一体となった支援や予防活動に取り組むことを実現するため、大月市地域包括ケア推進会議を設置し、協議を進めています。今後も様々な形で活動するグループの育成、支援に努めたいと考えます。</p> <p>また、大月市と協力して介護予防の活動を支援してくれる事業者との連携もすすめていきます。</p>
5	<p>P48の「総合事業について、全く白紙に近い事業計画になっています。国の政策転換によるものですので、無理であれば無理と国に施策の再転換を迫ることが大切ではないでしょうか。</p>	<p>今回の法改正では、介護事業者に加え、ボランティア等の地域活動団体もサービス提供主体として位置づけています。これは、様々な生活支援ニーズを持つ要支援者等に対して多様な主体によるサービスを提供することによって、地域での生活を支援することを目的としています。大月市地域包括ケア推進会議にワーキンググループを設置して検討を進めていきます。</p> <p>また、この介護予防・日常生活支援総合事業は、新たに地域支援事業に設置され、各自治体が地域の実情に応じて取り組むこととされています。</p>
6	<p>この計画案は、大月市の高齢者が最後まで人間らしくQOLを保ちながら住み慣れた町で過ごすための施策が詰まっています。しかし、現状のような国の姿勢を正さなければ、地方自治体が地域住民の生活と健康を守るという本来の任務も発揮できません。願わくは、大月市として国に政策転換を訴えていただけるなら、喜びに堪えません。</p>	<p>国の動向を見据え、必要な要請等を行ってまいります。</p>